学習指導案（教科：古文）

1　授業内容
科目：古文
単元：枕草子-雪のいと高う降りたるを-

2　本時の指導計画と評価方法
(1)　単元の目標
・平安時代の文章に触れることで古典に親しむ。（関心・意欲・態度）
・随筆に表れた古人の考え方を的確に読みとり、要約する。（読む能力）
・『枕草子』に記されている後宮やそこに仕える女房たちの様子を理解する。（読む能力）
・文の構造、歴史的仮名遣い、語句の意味を理解する。（知識・理解）
(2)　本時の目標
・原文を声に出して読み、単語の意味を確認しながら、正確に文章の内容を理解する。
・ワークシートを用いて協働学習を行い、作者の心情を読み取る。
(3)本時の評価規準
（関心・意欲・態度）古文に書かれた内容や登場人物、作者について関心をもち、自分の意見を進んで表現しようとしている。
（思考・判断・表現）文章の内容を的確に読み取り、要約している。人物と出来事を把握し、作者の立場や評価を理解している。
（知識・理解）文の構造、歴史的仮名遣い、語句の意味を理解している。
(4)本時の展開

時間	指導の内容・ねらい	学習活動	指導上の留意点・評価
導入 (10分)	・前時の復習 ・本時の目標・学習内容の提示	・前時の内容について確認する。 ・本時の目標・学習内容を確認する。 ・本文を音読する。	評価【関心・意欲・態度】 音読に積極的に取り組んでいる。
展開 (30分)	・本文を現代語訳する。 ・人物と出来事を読み取る。	・単語の語彙を調べ、適切に現代語訳する。 →EX-wordを使用し、単語を正しく理解する。**[ICT活用]** ・場面を読み取り、発言の主体と動作とを把握する。 →ワークシートの配布機能・提出機能を使用して、協働学習をする。**[ICT活用]** ・作者のどのような行動が定子の心にかなったのかを読み取る。 →ワークシートの配布機能・提出機能を使用し、協働学習をする。**[ICT活用]**	・現代の意味との違いを確認する。 ・重要語・文法事項の確認を行う。 評価【知識・理解】 現代語訳を正しく行っている。 評価【思考・判断・表現】 文章の内容について、登場人物と出来事を把握している。 評価【思考・判断・表現】 作者の行動に対する定子や人々の評価を読み取っている。
まとめ (10分)	・まとめ ・次時の予告	・他の生徒の意見に触れ、正解・不正解にかかわらず意見整理をする。	評価【思考・判断・表現】 事項・内容を本文に即して把握している。

(5)ICT活用計画

ICTを主に活用するのは、展開の部分である。

（手順）
1　教師は、「雪の～」の穴埋め形式の現代語訳を作成、生徒へ配布する。
2　生徒はEX-wordで語彙を調べ、正確に現代語訳する。またその際、主体（主語）も確認させる。
※生徒には、EX-wordで手軽に単語の語彙が調べられることを知ってもらう。
3　調べた単語はノート上に保管しておく旨も伝える。（復習用）
4　教員は、「作者のどのような行動が定子の心にかなったのか」ワークシートを配布して、生徒に考えを記入させ、提出させる。
5　生徒達の意見を画面で共有し、さまざまな意見に触れさせる。

（ClassPad.netを活用する効果性について）
1　テキストふせんのテキスト色を目的に応じて変えることで、生徒の理解度の向上を図ることができる。
2　生徒もノートをまとめる際にテキスト色を変更し、自身の理解しやすいようにまとめることができる。
3　課題の作成・配布・解答の共有までノートブック上で完結でき、効率良く授業をすすめることができる。